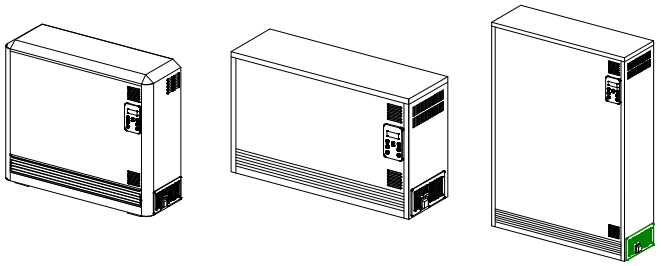
MA130009 A4 13/07/02

Dimplex®

VUEi-JW VNEi-JW VHEi-JW



電気蓄熱暖房器ユニデール
取扱説明書(保証書付)

温風式(マイコン内蔵型)
VUEiシリーズ
VNEiシリーズ
VHEiシリーズ

型番 VUEi 20JW VUEi 50JW
VUEi 30JW VUEi 60JW
VUEi 40JW VUEi 70JW
VUEi 80JW
VNEi 36JW VNEi 50JW
VHEi 60JW

- この度は、電気蓄熱暖房器ユニデールをお買い上げいただきましてありがとうございます。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解してください。
- この取扱説明書には保証書がついておりますので、お読みになった後は大切に保管してください。

もくじ

ページ

ご使用まえに

安全上のご注意 ……2
本機の特長 ……4
マイコン機能のしくみ ……5
各部の名称 ……6
コントローラーの名称と機能 ……6
表示部のみかた ……7

おもな操作のしかた

現在時刻の設定 ……8
蓄熱量の設定 ……9
室温の設定 ……10
ファンモードの設定 ……11
追焚の設定 ……12

便利な機能

予約モード ……13
蓄熱時間の設定 ……17
チャイルドロック ……18

必要なとき

リセット ……19
エラーコード表示 ……19
お手入れ ……20
故障かな？と思ったら ……21
仕様 ……22
保証とアフターサービス ……22
保証書 ……23
お客様ご相談窓口のご案内 ……24

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

● 表示内容を無視した時に生じる人身への危害、財産への損害の程度を、次のレベルに分類し説明しています。

⚠ **警告**：取扱を誤った場合、死亡または重症を負う可能性が想定される内容です。

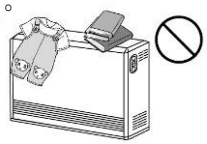
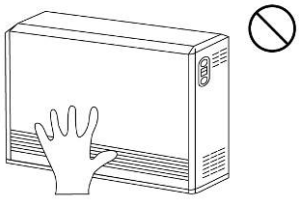
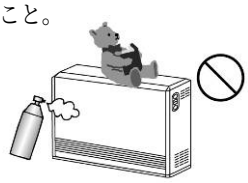
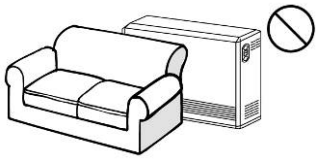
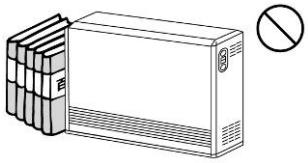
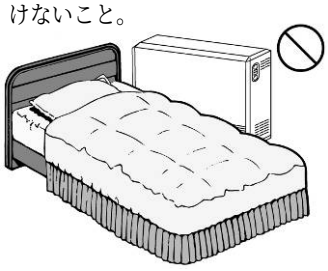
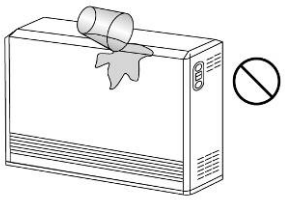
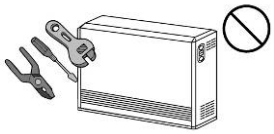
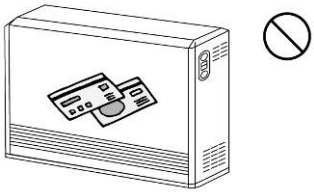
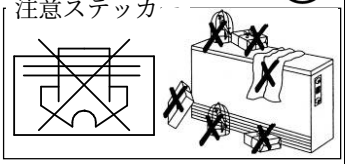
⚠ **注意**：取扱を誤った場合、傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される内容です。

● お守りいただく内容の種類を、次の記号で区分し説明しています。

禁止図記号 ・・・・・・・・・・製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号。

指示図記号 ・・・・・・・・・・製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号。

⚠ 警告

上部（天板）に物を置かないこと。衣類など本体にかけて乾かさないこと。  火災のおそれがあります。また、安全スイッチ（蓄熱温度過昇防止装置）が働き蓄熱しなくなるおそれがあります。	吹出し口を手で触らないこと。  やけどのおそれがあります。	塗料、シンナー等引火性の物を近づけないこと。おもちゃやカーテン等燃えやすい物をそばで使わないこと。  火災、爆発のおそれがあります。	前面に物を置いて吹出し口をふさがないこと。  正面グリルをふさぐと機器（吹出温度過昇防止装置、ルームサーモスタット）が誤作動し故障の原因になります。
本体と壁の間に物を入れないこと。本体に接触して物を置かないこと。  火災のおそれがあります。	吹出し口に座布団や寝床を近づけないこと。  火災のおそれがあります。	水をかけたりしないこと。  絶縁劣化により漏電、感電、火災のおそれがあります。	本体の分解、改造を行わないこと。衝撃を与えないこと。  感電、やけど、火災のおそれがあります。修理が必要な時は販売店にご相談ください。
磁気カードを近づけないこと。  本体の誤作動、故障の原因となります。	吹出し口や吸込み口に金属等の異物を入れないこと。 感電、火災のおそれがあります。	スプレー等の缶を本体の近くに置かないこと。 爆発、火災のおそれがあります。	本体に物を被せないこと。また、吹出し口付近に物を置かないこと。 注意ステッカ  火災のおそれがあります。また、安全スイッチ（蓄熱温度過昇防止装置）が働き蓄熱しなくなるおそれがあります。

本体表面に結露が生じる場所、水濡れや湯煙がある場所で使用しないこと。
漏電、感電、火災のおそれがあります。

間接的でも長時間人体を接触させないこと。
やけどのおそれがあります。

アース、漏電遮断装置の工事が行われていること。
そのまま使用すると感電のおそれがあります。
また異常時などの場合、漏電遮断装置を「切」にしないでそのまま使用すると故障や感電、火災の原因になります。

転倒防止金具（ブラケット）が正しく取りつけられ、本体がしっかりと固定されていること。
固定されていないと地震等により本体が倒れてけがをすることがあります。

⚠ 注意

運転中は操作部以外は触らないこと。
やけどのおそれがあります。

幼児や体の不自由な方は、付き添いなしのご使用は避けること。
やけどのおそれがあります。

暖房以外の目的で使用しないこと。
感電・火災・やけどのおそれがあります。

電源コード等を無理に引っ張らないこと。
感電・火災のおそれがあります。

本体表面の清掃は、ベンジン・シンナー等の溶剤、クレンザー、たわしは使用しないこと。
本体表面の塗装を傷めるおそれがあります。

取付作業は、専門の設置業者が行うこと。
機器の転倒や火災・感電のおそれがあります。

配線工事は、有資格の電気工事業者が行なうこと。
感電のおそれがあります。

異常が感じられるときは、ブレーカを「切」にすること。
異常のまま使用すると故障や感電、火災のおそれがあります。

電源コードが破損した場合の修理は、必ず専門業者に依頼すること。
感電・ケガのおそれがあります。

本体表面の清掃は、必ずブレーカーを「切」にし本体を冷ましてから行うこと。
感電・やけどのおそれがあります。

本体内部の清掃は、必ず専門業者に依頼すること。
感電・ケガのおそれがあります。

本体付近の壁紙などは熱で変色しない物を使用すること。
本体の熱で壁紙などが変色するおそれがあります。

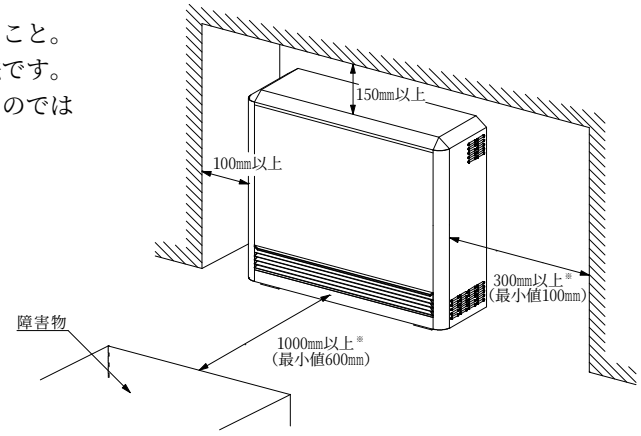
※ 空気中の温度差によってできる上昇気流の影響による熱やほこり等によって壁面が変色する場合もあります。

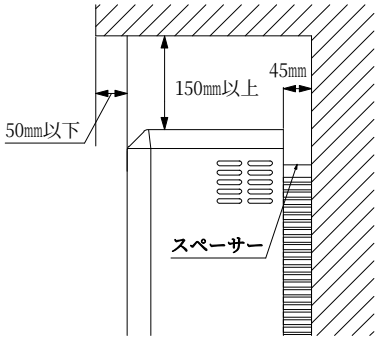
⚠ 離隔距離に関しての注意

カーテン等の可燃物に対して以下の離隔距離を確保すること。
離隔距離は、正常に作動するために必要な最低限の寸法です。
周囲の仕上げ材等の変色・変形しないことを保障するものではありません。

- 左面方向 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・100mm 以上
- 右面方向 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・300mm 以上※
  （最小値 100mm）
- ならべて設置する場合 ・・・・・・・・・300mm 以上
- 上面方向 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・150mm 以上
- 背面方向 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・45mm
  （付属の壁付け用スペーサーで確保します。）
- 前面方向 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1000mm 以上※
  （最小値 600mm）

※メンテナンススペースとして必要です。





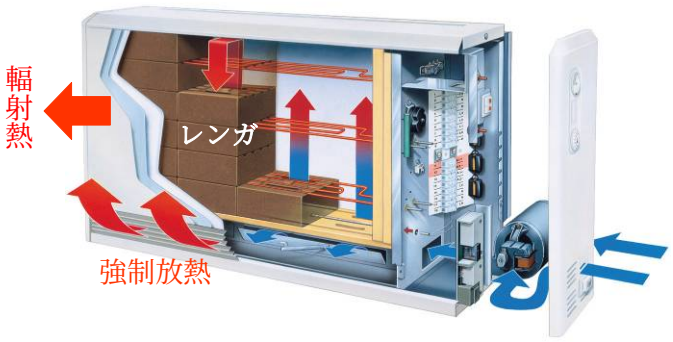
本機の特長

電気蓄熱暖房器ユニデールＶＵＥｉシリーズ（標準型)、ＶＮＥｉシリーズ（ローボーイ型)、ＶＨＥｉシリーズは、深夜電力（２００Ｖ）を使用して蓄熱レンガに熱を蓄え、暖房器本体表面からの輻射熱とファン（１００Ｖ）による温風でお部屋を暖めます。

電気ヒータによる暖房のため排気による空気の汚れがなく、クリーンです。

また、マイコン機能により無駄な電気を消費しない経済的な暖房器です。

※ 電源は２００Ｖと１００Ｖを使用します。



クリーン
燃焼部分がないため、排気ガスによって空気を汚すことがありません。

追焚機能
万一蓄熱量が不足しても、追焚機能で日中の蓄熱が可能です。
※時間帯別電灯契約でご使用の場合に限ります。

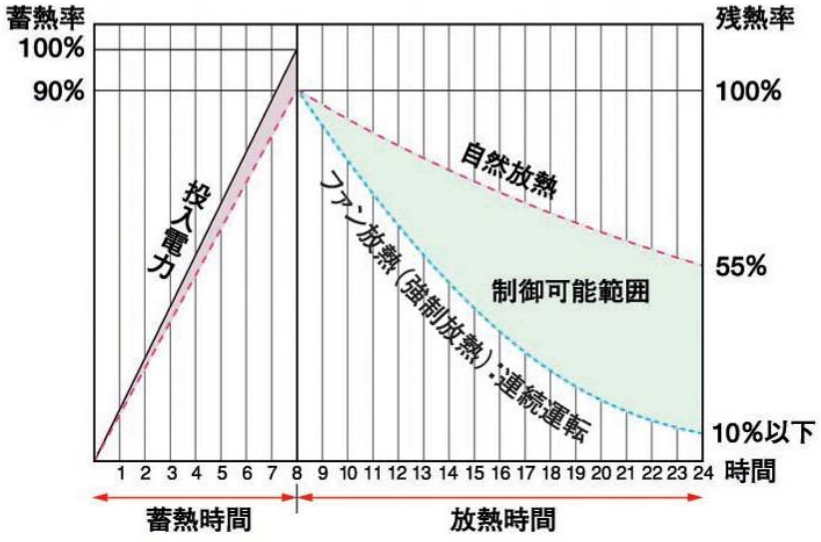
省エネ運転
予約モードを使用することにより、無駄な放熱を抑えた節約運転ができます。
※１３ページ参照

快適暖房
本体表面からの輻射熱により室内をムラなく暖めます。また、低風速ファンによる温風対流は足元から暖める快適な環境を提供するとともに、ドアの開閉や換気等による熱負荷の変動に対応し快適な室温を維持します。

マイコン機能
マイコン制御で、前日の残熱量により蓄熱時間を調整（ピークシフト）し、無駄な電力消費を抑えます。また、通電制御割引（マイコン割引）によりランニングコストを低減します。
※マイコン割引のある地域とない地域があります。また、割引金額も地域により違いがありますので、各電力会社にご確認ください。

暖房器の放熱特性は、下記のグラフのように制御可能範囲で暖房することができます。

・自然放熱 ･･･････ファンを運転しない場合、残熱量は約５５％になります。
・強制放熱 ･･･････ファンを連続運転（１日中）している場合、残熱量は１０％以下になります。

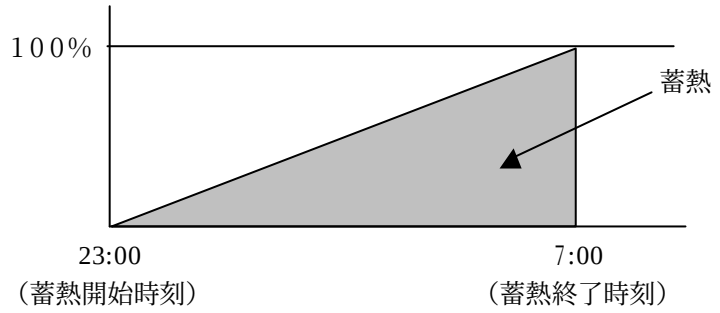


※ 窓を開け放しにする等、室温を低くすると残熱量は表記以下になるおそれがありますのでご注意ください。

マイコン機能のしくみ

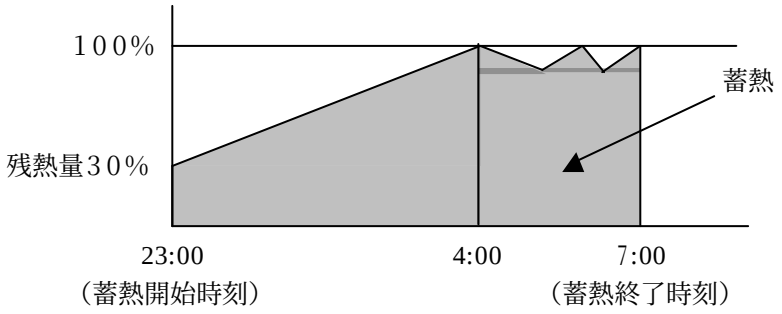
残熱量と、設定された蓄熱量に応じて、蓄熱開始時刻を自動的に決定し、蓄熱運転を行います。

【 例１：マイコン機能なし、残熱量０％の場合 】



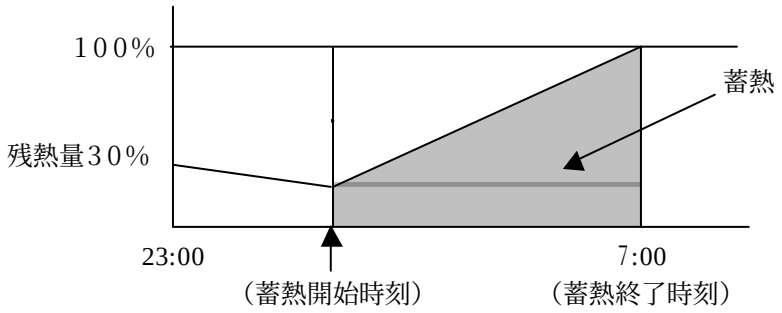
23:00 に残熱量が０％の場合、23:00 に電源が入り、7:00 までの８時間蓄熱することで蓄熱量が 100%に達します。

【 例２：マイコン機能なし、残熱量 30%の場合 】



23:00 に残熱量が 30%の場合、23:00 に電源が入り、4:00 頃に蓄熱量が 100%に達します。その時点で一旦通電が遮断され、蓄熱量が 10%程度減ると通電が再開され、それを 7:00 まで繰り返します。

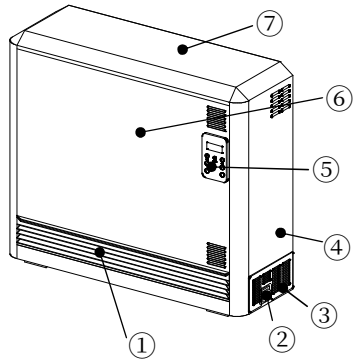
【 例３：マイコン機能あり、残熱量 30%の場合 】



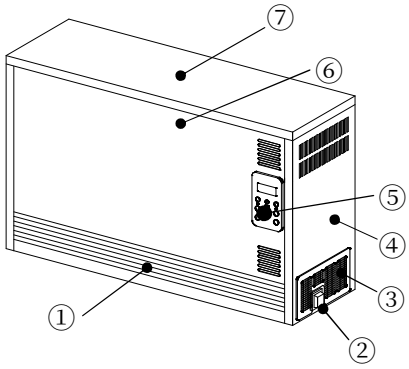
23:00 に残熱量が 30%の場合、7:00 の時点で蓄熱量が 100%となるように通電開始時刻を調整（ピークシフト）します。
ただし、蓄熱時間帯にファンを運転した場合は、連動して蓄熱運転（蓄熱ランプ：緑）を行います。

各部の名称

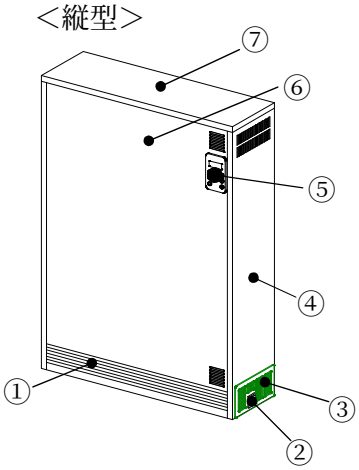
＜標準型＞



＜ローボーイ型＞



＜縦型＞



①グリル　②室温センサー　③吸い込みネット　④サイドパネル
⑤コントローラー（液晶表示付き）　⑥フロントパネル　⑦トップパネル

コントローラーの名称と機能

表示部
通常は現在時刻を表示します。
各種設定時には、それぞれに応じた画面が表示されます。

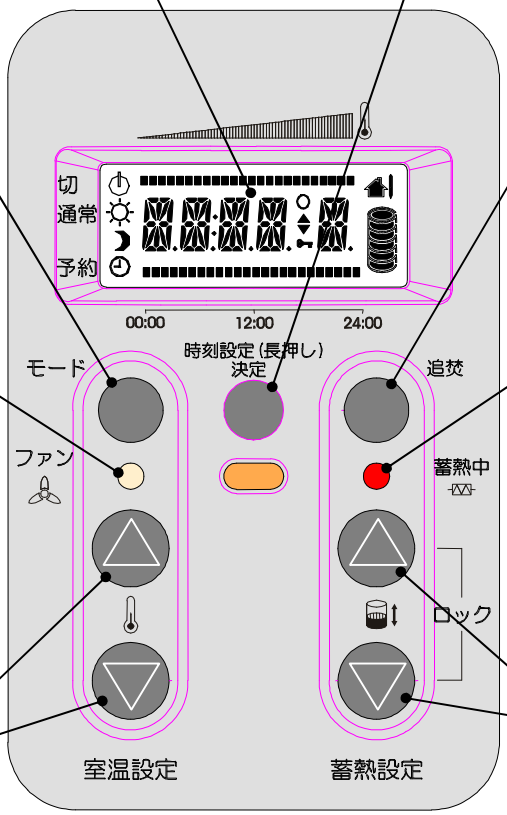
決定ボタン
各種設定を決定するボタンです。

モード切替ボタン
ファンモードを選択するボタンです。
（11 ページ参照）

追焚ボタン
追焚の開始や解除を行うボタンです。
（12 ページ参照）

ファン運転ランプ
ファンが運転中のときに点灯します。
（ファン運転中：橙色）

蓄熱ランプ
蓄熱中あるいは追焚中に点灯します。
（蓄熱中：緑色、　追焚中：赤色）

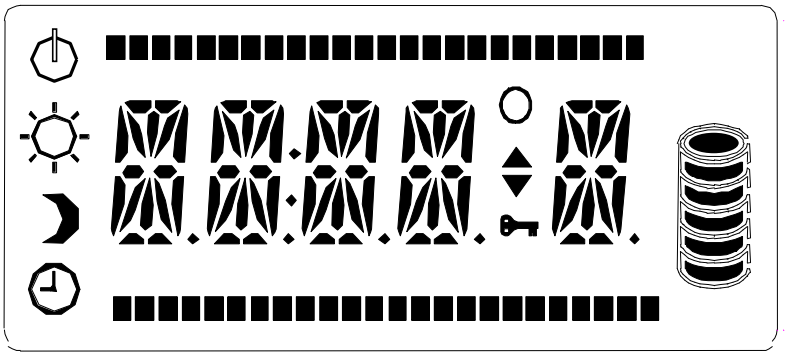


コントローラー

室温設定ボタン
上下ボタンにて室温を設定します。
（10 ページ参照）

蓄熱量設定ボタン
上下ボタンにて蓄熱量を設定します。
（9 ページ参照）

表示部のみかた

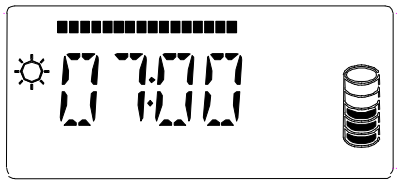


表示マーク	内容	参照ページ
	「切」モードを選択したときに表示されます。	11
	「通常」モードを選択したときに表示されます。	11
	「予約」モードを選択したときに表示されます。	11、13
	「予約」モードの温度低減幅を調整中に表示されます。 ※200Vが通電されていない状態で、蓄熱量の設定を「5%」以上にしているときに表示されます。(P.21 参照)	14
○	「度」 表示画面が温度表示になっているときに表示されます。	10、14
▲ ▼	蓄熱開始時刻・終了時刻、及び「予約」モードの予約開始時刻・終了時刻の調整中に表示されます。	14、15、17
	チャイルドロック中に表示されます。	18
	設定蓄熱量が常に表示されます。	9
■ (上の段24個)	設定温度が常に表示されます。	10
■ (下の段24個)	「予約」モードを選択したときに、予約開始時刻と予約終了時刻の状態が表示されます。	16

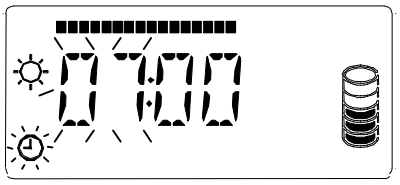
現在時刻の設定

はじめて電源を投入した時など現在時刻が設定されていない場合、表示部が点滅状態となり、本機の機能が一切働きませんので現在時刻を設定する必要があります。
また現在時刻が正確に設定されていないと機能が正しく働かないだけでなく、電気料金が増大する場合がありますので定期的に確認をしてください。
特に暖房シーズン前には、時刻合わせを確実に行ってください。

【例】午前 7 時 00 分（０７：００）の表示を、午後 1 時 13 分（１３：１３）に合わせる場合

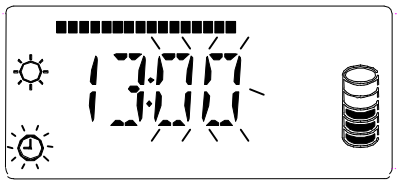


①決定ボタンを 3 秒以上長押しします。



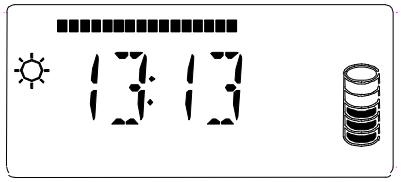
マークと「時」部分が点滅します。

②上下ボタン(△ ▽)を押して「時」を「13」に調整し、決定ボタンを押します。



「時」の「13」が点灯し、「分」部分が点滅します。

③上下ボタン(△ ▽)を押して「分」を「13」に調整し、決定ボタンを押します。

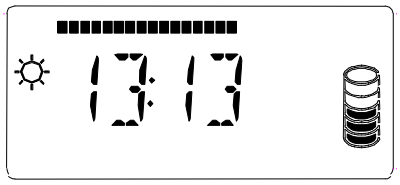


現在時刻が表示されます。

※時刻は 24 時間表示になりますのでご注意ください。
※使用する上下ボタン(△ ▽)は、室温設定ボタン又は蓄熱量設定ボタンのどちらでも構いません。
※設定の途中で 1 分間何も操作が行われなかった場合、設定画面は解除されます。
（設定画面が解除される前に決定ボタンを押した内容はキャンセルされません。）

蓄熱量の設定

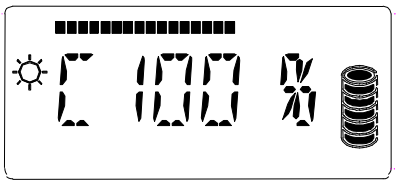
【例】蓄熱量を１００%に設定する場合



設定前の表示（現在時刻表示）

①蓄熱量設定ボタンの上下ボタン(△ ▽)を押します。

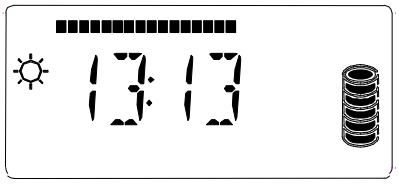
「C」と「%」が表示され、
設定蓄熱量が調整されます。



設定蓄熱量 １００%の場合

②決定ボタンを押します。

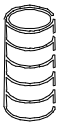
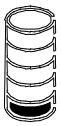
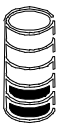
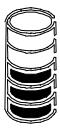
現在時刻表示に戻ります。



※ 設定蓄熱量の初期値は０%になっています。
※ 設定の途中で５秒間何も操作が行われなかった場合、現在時刻表示に戻ります。
（現在時刻に戻る前に上下ボタンで変更した設定蓄熱量はキャンセルされません。）

[設定蓄熱量とシンボル表示について]

設定蓄熱量とシンボル表示の関係は、以下のようになります。

設定蓄熱量	0%	5～20%	25～40%	45～60%	65～80%	85～100%
シンボル表示						

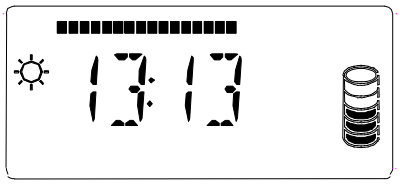
[蓄熱量の目安について]

設　定	目　安
0%（切）	長期間使用しない時期
40%	春や秋などのわずかな暖房が必要な時期
70%	初冬など比較的寒さの厳しくない時期
100%	真冬など昼夜を通して暖房する時期

- 蓄熱量は、0～100%の範囲で 5%刻みに設定できます。
- 蓄熱量を低めに設定されたほうが経済的ですが、外気温の変動が大きいときなど、蓄熱量が不足する場合があります。
- 必要以上にファン運転を続けると蓄熱量が不足する場合があります。
  また、蓄熱時間帯にファン運転を行うと設定蓄熱量まで蓄熱できない場合がありますので、ファンモードは以下のいずれかのようにお使い頂くことを推奨します。
  1）常時「予約」モードにして、蓄熱時間帯についてはファン停止もしくは設定温度を低減させる。
  2）蓄熱時間帯は「切」モード、蓄熱時間帯以外は「通常」モードにする。
  ※ファンモードの詳細については、１１ページを参照ください。
- 日中に外出する際に、設定蓄熱量を変更する必要はありません。
- シーズンオフなどで暖房器を長時間お使いにならない時は、蓄熱量設定を「0%」（切）にするだけでなく、電源ブレーカー（200V）も必ず「切」にしてください。

室温の設定

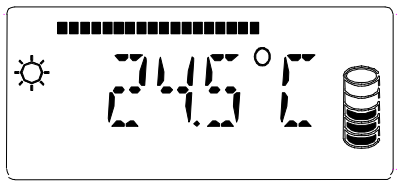
【例】室温設定を 24.5℃にする場合



設定前の表示（現在時刻表示）

①室温設定ボタンの上下ボタン(△ ▽)を押します。

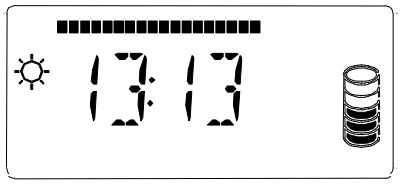
「℃」が表示され、
設定室温が調整されます。



設定室温２４．５℃の場合

②決定ボタンを押します。

現在時刻表示に戻ります。



※設定温度は７～３０℃の範囲で０．５℃刻みに設定できます。
※設定温度の初期値は２２℃になっています。
※設定の途中で５秒間何も操作が行われなかった場合、現在時刻表示に戻ります。
（現在時刻に戻る前に上下ボタンで変更した設定室温はキャンセルされません。）
※設定温度は目安としてください。暖房器の設置状況、使用環境により、設定温度と室内温度に多少の誤差がでることがあります。
※本体右側面付近にて温度を感知し、ファンの「入」、「切」を行います。
※必要以上に設定温度を上げると、蓄熱量が不足することがあります。

[設定温度とシンボル表示について]

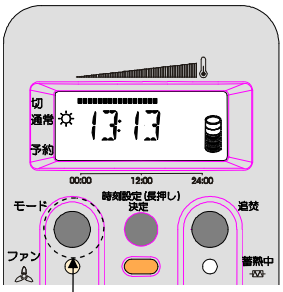
設定温度とシンボル表示の関係は、以下の例のようになります。

～表示例～

設定温度（℃）	シンボル表示	■の数
7（最小）	■	1
１５	■■■■■■■■■	9
２２	■■■■■■■■■■■■■■■■	１６
３０（最大）	■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■	２４

ファンモードの設定

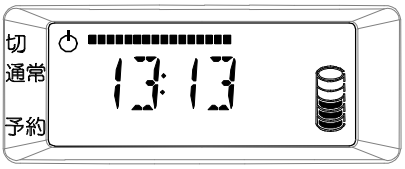
モード切替ボタンを押すことで、以下の３つのファンモードを切替えることができます。



モード切替ボタン

●「切」モード

マークが表示されます。



ファンが運転しません。
長期間ご使用にならない時は必ずこの位置を選択してください。

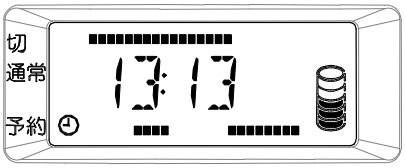
●「通常」モード

マークが表示されます。

室内温度が設定温度より低い時、ファンが運転します。
室内温度が設定温度に達すると、ファンが停止します。

●「予約」モード

マークが表示されます。



予約した時間帯内については、「通常」モードと同様に設定温度に応じた運転を行います。
予約した時間帯外については、通常より設定温度を下げた運転またはファン運転を停止します。
外出時、就寝時などに室温を低く一定に保ちたい時に選択してください。

※「予約」モードの詳細については、１３～１６ページを参照ください。

※必要以上にファン運転を続けると蓄熱量が不足する場合があります。
また、蓄熱時間帯にファン運転を行うと設定蓄熱量まで蓄熱できない場合がありますので、ファンモードは以下のいずれかのようにお使い頂くことを推奨します。
１）常時「予約」モードにして、蓄熱時間帯についてはファン停止もしくは設定温度を低減させる。
２）蓄熱時間帯は「切」モード、蓄熱時間帯以外は「通常」モードにする。

追焚の設定

日中（蓄熱時間帯外）の蓄熱量が少なくなった時に追焚を行い、蓄熱量を補充することができます。

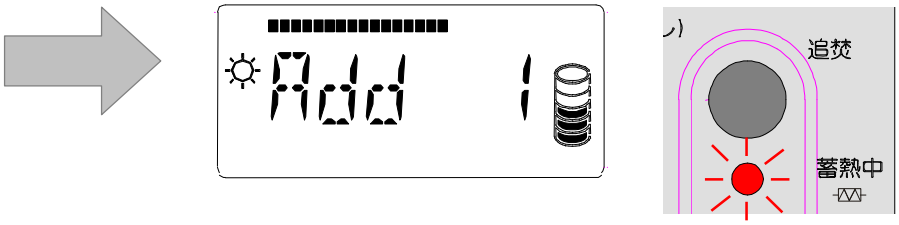
※ 追焚機能を利用するには、夜間時間以外でも蓄熱暖房器用 200V 電源を使用できる時間帯別電灯契約をする必要があります。

●追焚の開始

①蓄熱量を設定します。（9ページ参照 ）

②追焚ボタンを押します。

「Add 1」と表示されて、蓄熱中ランプが赤色に点灯します。

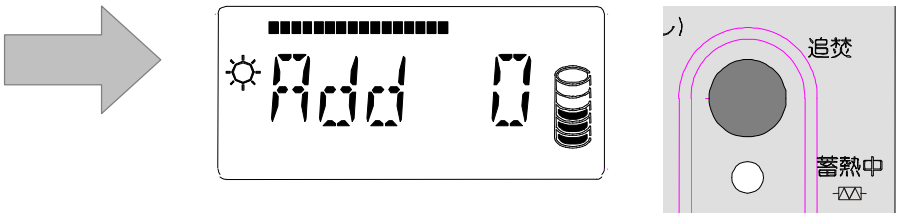


「Add 1」の表示は、約３秒後に現在時刻表示に戻ります。

●追焚の解除

①追焚ボタンを押します。

「Add 0」と表示されて、蓄熱中ランプが消灯します。



「Add 0」の表示は、約３秒後に現在時刻表示に戻ります。

※ 蓄熱量設定が「0%」の時には、追焚の開始操作をしても追焚されません。

※ 追焚は、蓄熱量設定より現在の蓄熱量が低い時に追焚されます。

※ 追焚開始後 2 時間経過した時か、設定蓄熱量に達した時のどちらか早い方に合わせて自動的に終了します。

※ 追焚中に蓄熱開始時刻になると、自動的に追焚は終了します。

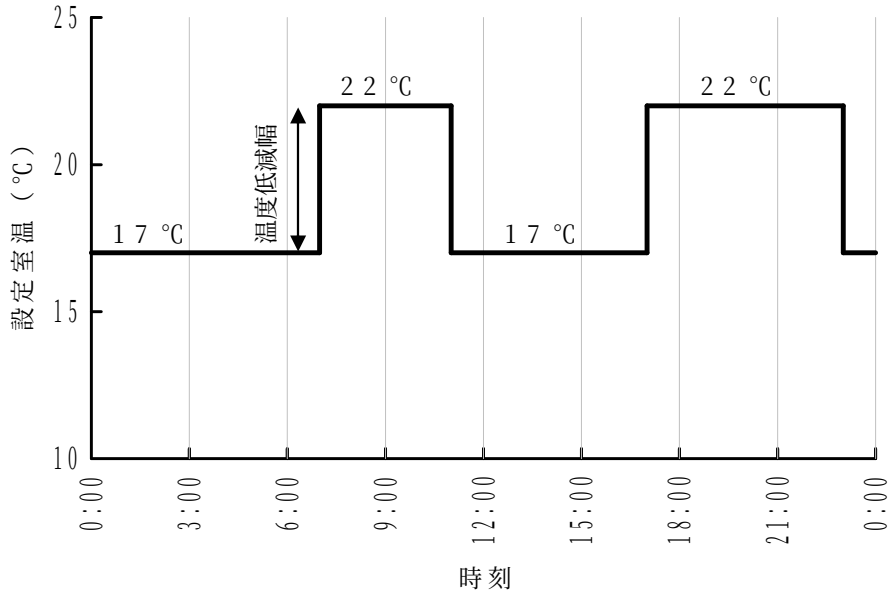
※ 蓄熱時間帯中は追焚操作できません。

※ 追焚は深夜時間帯以外の電気を使用するため電気料金が割高となります。

予約モード

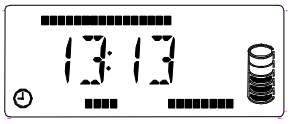
予約設定した時間帯については、「通常」モードと同様に設定温度に応じた運転を行います。
予約した時間帯以外については、通常より設定温度を下げた運転、またはファン運転を停止します。
就寝時間帯や日中の外出時間帯など室内温度を低めにして、無駄な放熱を防ぎ、在室時にはお好みの温度設定で運転を行います。
これにより、必要以上の放熱をおさえマイコン制御で実際の蓄熱時間を短くするので、電力消費（電気代）が低減され、省エネ効果が期待できます。
予約モードは２つの時間帯を設定できます。

【例】 7:00～11:00 の間と 17:00～23:00 の間は通常の設定温度（22℃）で運転し、それ以外の時間帯は、通常より 5℃低い設定温度（17℃）で運転する場合



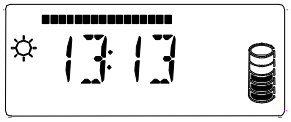
温度低減幅　：5
予約開始時刻１　：7:00
予約終了時刻１　：11:00
予約開始時刻２　：17:00
予約終了時刻２　：２3:00

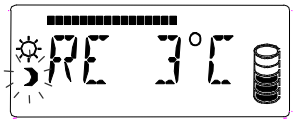
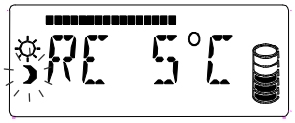
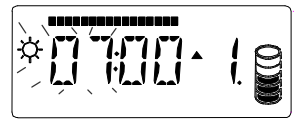
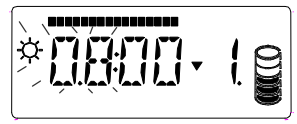
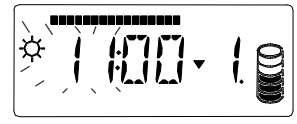
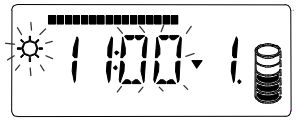
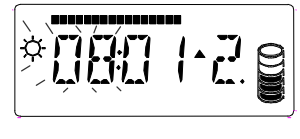
●「予約」モードの開始

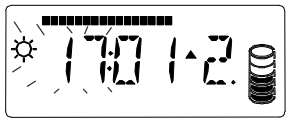
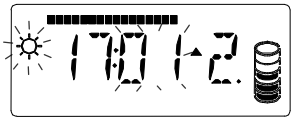
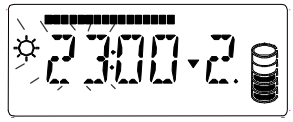
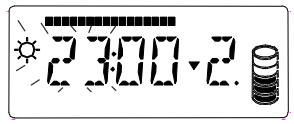
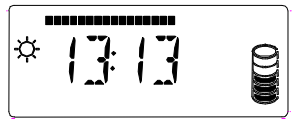
モード切替ボタンを押して、「予約」モードを選択します。	 「🕘」が表示される。 予約時間が■で表示される。

※予約時間の設定方法は、14・15 ページを参照ください。
※予約時間を表わす■の表示の見方は、16 ページを参照ください。

●「予約」モードの解除

モード切替ボタンを押して、「予約」モード以外を選択します。	 「🕘」表示が消える。 予約時間を表わす■が消える。

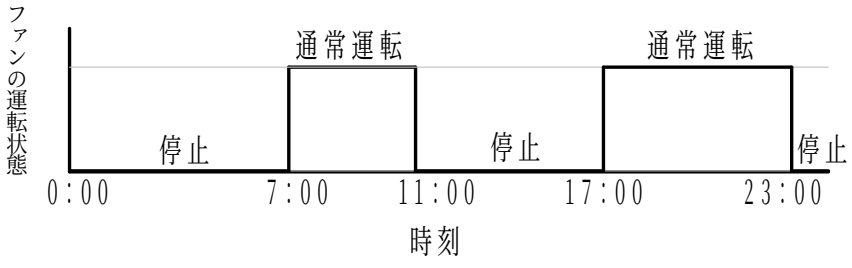
～温度低減幅の設定～	
①モード切替ボタンを３秒以上押し続けます。	 「RE □□℃」表示になる。 「◗」が点滅する。
②上下ボタン(△▽)を押し、温度低減幅を設定します。 ※ 温度低減幅は 0～9℃まで設定できます。 ※「RE✱✱℃」はファン停止設定となります。	 温度低減幅を調整する。
③決定ボタンを押します。	「▲」と「１」の表示が現われる。 「☼」と時刻(時)が点滅する。
～予約開始時刻１の設定～	
④上下ボタン(△▽)を押して、予約開始時刻１の「時」を設定します。	 時刻(時)を調整する。
⑤決定ボタンを押します。	「☼」と時刻(分)が点滅する。
⑥上下ボタン(△▽)を押して、予約開始時刻１の「分」を設定します。	時刻(分)を調整する。
⑦決定ボタンを押します。	 「▼」の表示が現われる。 「☼」と時刻(時)が点滅する。
～予約終了時刻１の設定～	
⑧上下ボタン(△▽)を押して、予約終了時刻１の「時」を設定します。	 時刻(時)を調整する。
⑨決定ボタンを押します。	「☼」と時刻(分)が点滅する。
⑩上下ボタン(△▽)を押して、予約終了時刻１の「分」を設定します。	 時刻(分)を調整する。
⑪決定ボタンを押します。	 「▲」と「２」の表示が現われる。 「☼」と時刻(時)が点滅する。

～予約開始時刻２の設定～	
⑫上下ボタン(△▽)を押して、予約開始時刻２の「時」を設定します。	 時刻(時)を調整する。
⑬決定ボタンを押します。	 「☼」と時刻(分)が点滅する。
⑭上下ボタン(△▽)を押して、予約開始時刻２の「分」を設定します。	時刻(分)を調整する。
⑮決定ボタンを押します。	 「▼」の表示が現われる。 「☼」と時刻(時)が点滅する。
～予約終了時刻２の設定～	
⑯上下ボタン(△▽)を押して、予約終了時刻２の「時」を設定します。	 時刻(時)を調整する。
⑰決定ボタンを押します。	「☼」と時刻(分)が点滅する。
⑱上下ボタン(△▽)を押して、予約終了時刻２の「分」を設定します。	時刻(分)を調整する。
⑲決定ボタンを押します。	 現在時刻表示に戻る。

※ 使用する上下ボタン(△▽)は、室温設定ボタン又は蓄熱量設定ボタンのどちらでも構いません。

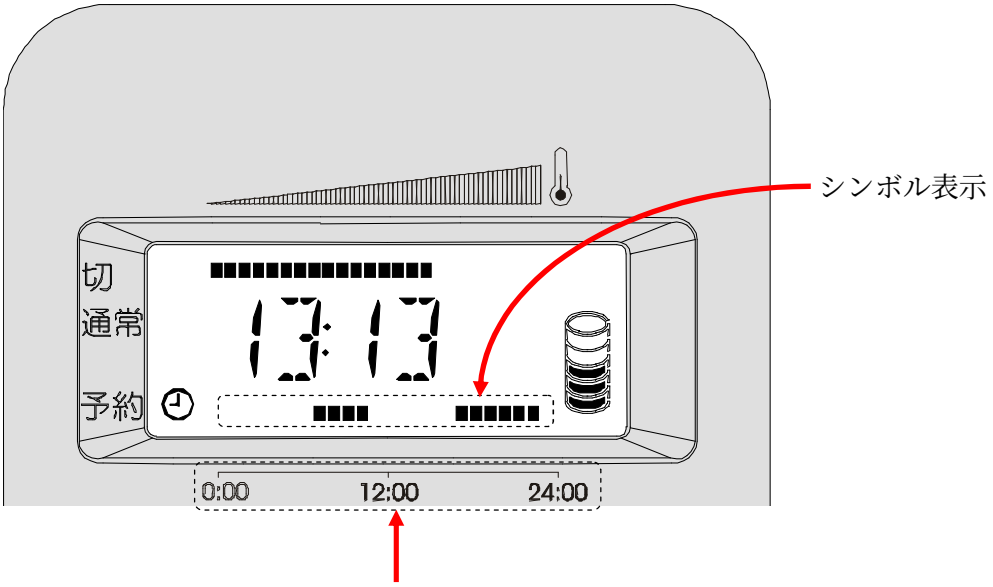
※ 設定の途中で１分間何も操作が行われなかった場合、現在時刻表示に戻ります。
（現在時刻に戻る前に決定した内容は保存されています。）

※ 温度低減幅の設定時に、「RE　9℃」の次に表示される「RE ✱✱℃」に設定すると、予約時間帯以外は、設定温度に関わらずファンが完全に運転停止状態になります。



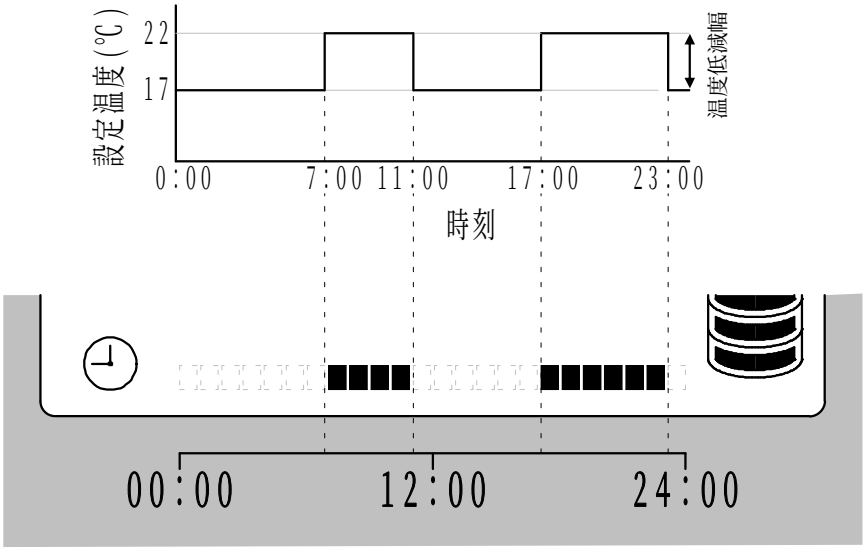
[予約モード設定値とシンボル表示について]

予約モードを開始するとシンボル表示が現われます。
予約した時間帯を■マークで表示します。



シンボル表示を読み取るための時刻目盛です。（２４時間目盛）

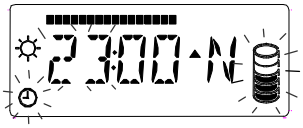
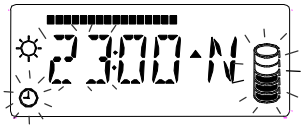
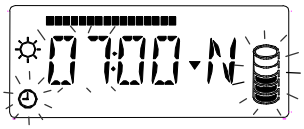
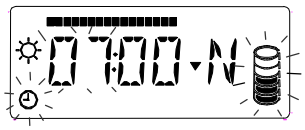
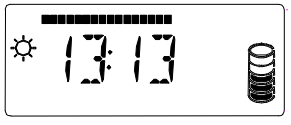
【例】 7:00～11:00 の間と 17:00～23:00 の間は通常の設定温度（22℃）で運転し、
それ以外の時間帯は、通常より 5℃低い設定温度（17℃）で運転する場合



蓄熱時間の設定

夜間の蓄熱を開始する時刻と終了する時刻を設定します。

【例】 蓄熱開始時刻を 23:00、蓄熱終了時刻を 7:00 に設定または確認する場合

①「モード切替」「決定」ボタンを同時に３秒以上押し続けます。	 「▲」と「N」の表示が現われる。 「🕘」と「🛢」と時刻(時)が点滅する。
②上下ボタンを押し、蓄熱開始時刻の「時」を設定します。	 時刻(時)を調整する。
③決定ボタンを押します。	「🕘」と「🛢」と時刻(分)が点滅する。
④上下ボタンを押して、蓄熱開始時刻の「分」を設定します。	時刻(分)を調整する。
⑤決定ボタンを押します。	 「▼」の表示が現われる。 「🕘」と「🛢」と時刻(時)が点滅する。
⑥上下ボタンを押して、蓄熱終了時刻の「時」を設定します。	 時刻(時)を調整する。
⑦決定ボタンを押します。	「🕘」と「🛢」と時刻(分)が点滅する。
⑧上下ボタンを押して、蓄熱終了時刻の「分」を設定します。	時刻(分)を調整する。
⑨決定ボタンを押します。	 現在時刻表示に戻る。

※ 使用する上下ボタン(△ ▽)は、室温設定ボタン又は蓄熱量設定ボタンのどちらでも構いません。

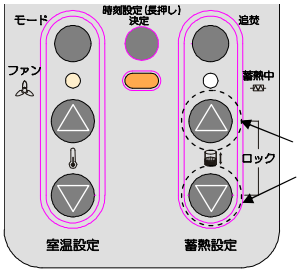
※ 設定の途中で 1 分間何も操作が行われなかった場合、現在時刻表示に戻ります。
（現在時刻に戻る前に決定ボタンを押した内容はキャンセルされません。）

チャイルドロック

小さなお子様のいるご家庭など誤操作防止のため、チャイルドロック機能をお使いになられることで、ボタン操作ができなくなります。

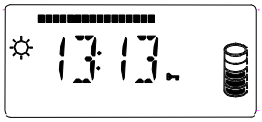
●チャイルドロックの開始

蓄熱設定用の上下ボタンを同時に３秒以上押す。



・「LOCK 1」と表示される。
・「🔑」が表示される。

数秒後・・・

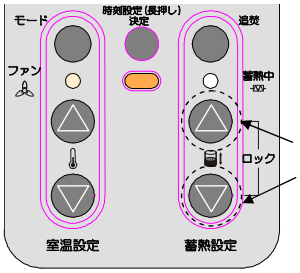


・「🔑」が表示されたまま、
現在時刻表示に戻る。

※　チャイルドロックされた状態でボタンを押したときには、「LOCK　1」と表示され数秒後に現在時刻表示に戻ります。

●チャイルドロックの解除

蓄熱設定用の上下ボタンを同時に３秒以上押す。



・「LOCK 0」と表示される。
・「🔑」の表示が消える。

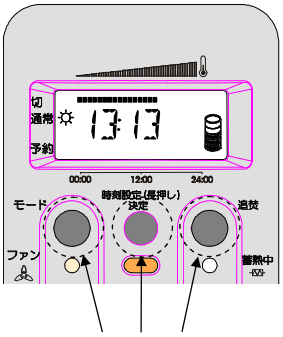
数秒後・・・

・現在時刻表示に戻る。

リセット

画面表示が異常な場合やボタン操作ができない場合は、リセット操作を行ってください。リセット操作をすることにより、室温設定、蓄熱量設定、予約モードの設定などを初期状態に戻すことができます。

「モード切替」「決定」「追焚」ボタンを同時に３秒以上押す。



同時に３秒以上押す。

以下の設定項目が初期状態にリセットされます。

設定項目		初期状態
ファンモード		予約
室温設定		22℃
蓄熱量設定		0％
追焚設定		OFF
予約モード	設定温度低減幅	3℃
	通常開始時刻１	6:00
	通常終了時刻１	8:00
	通常開始時刻２	8:01
	通常終了時刻２	23:00

※　ボタン操作ができない場合には、チャイルドロックしていないか確認してください。

※　現在時刻の設定・蓄熱時間の設定はリセットされません。

エラーコード表示

暖房器に異常が発生した場合、コントローラー表示部にエラーコードが表示されます。エラーコード表示は本機が正常な状態になるまで表示され、問題が解決すると自動的に復帰いたします。

エラーコード	異常内容
E01	蓄熱センサー異常
E02	室温センサー異常
E03	外気温センサー異常
E04	暖房器が傾いている。又は転倒防止装置異常
E05	内部メモリー異常
E06	コントローラー供給電圧異常
E07	コントローラーケーブル異常

※　エラーコードが表示されている間は、蓄熱動作、ファン運転を停止いたします。

※　エラーコードをご記憶の上、200V ブレーカーを「切」にし、100V 電源を切ってください。その後、販売店もしくは工事店までご連絡ください。

※　外気温センサーは日本では未使用の機能になります。

お手入れ

⚠ 警告

本体に水をかけない
漏電、感電、火災のおそれがあります。

⚠ 注意

本体表面の清掃は、必ず２００Ｖ電源ブレーカーを「切」にし、本体表面を冷やす
感電、やけどのおそれがあります。

本体表面の清掃は、ベンジン･シンナー等の溶剤、クレンザー、たわしは使用しない
本体表面の塗装を傷めるおそれがあります。

本体内部の清掃は、必ず専門業者に依頼する
感電、ケガのおそれがあります。

暖房器を末永くお使い頂く為にも、定期的にお手入れを行ってください。

【本体表面】

通常は乾いた柔らかい布で拭取ってください。
汚れがひどいときは、中性洗剤をしみこませた布で拭取ってください。

【吹出グリル・暖房器底部・周辺の隙間】

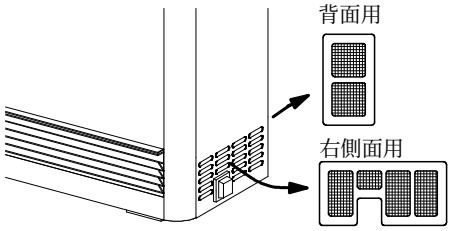
ホコリがたまりやすくなっていますので定期的に掃除機でホコリやゴミを取り除いてください。

【コントローラー】

現在時刻の設定を定期的に行ってください。特に暖房シーズン前は、時刻設定を確実に行ってください。

【吸込みネット】

本体右側面と背面にマグネットでついていますので、取り外して掃除機でこまめにホコリやゴミを取り除いてください。
※　ホコリやゴミがたまった状態で運転を行うと、暖房能力の低下や、故障の原因となる場合があります。



長期間お使いにならない時

シーズンオフなど長期間お使いにならない時は、

・蓄熱量設定は「０％」（９ページ参照）
・ファンモードは「切」（１１ページ参照）
・２００Ｖ 電源ブレーカーは「切」

にし、１００Ｖ 電源は入れたままとしてください。（バックアップ電池の消耗を低減するため。）

定期点検

末永くお使い頂く為にも２年間に一度程度の機器点検をお勧めいたします。（有料）

機器の点検の依頼は、販売店もしくは工事店にご依頼ください。

停電時のデータバックアップ

停電時は蓄熱・放熱機能（ただし、残熱がある場合は自然放熱を行います）が停止し表示部が消えますが、バックアップ電源（内蔵電池）により時計機能や各設定値は保持されています。（バックアップ時間は２年以上）

通電再開後は自動的に運転が再開されますが、もし時計機能がリセットされて表示部が点滅状態になっている場合は、現在時刻の設定を行って頂ければ通常どおりご使用できます。

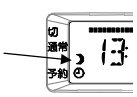
内蔵電池（リチウム電池 CR2032）の交換は、販売店に御相談ください。

故障かな？と思ったら

症状	調べる所	対処方法
コントローラー画面が表示されない。	100V 電源プラグが抜けていませんか。 ブレーカーは「切」になっていませんか。	100V 電源プラグの確認と、ブレーカーを「入」にしてください。
	100V 電源が入っている場合。	100V 電源プラグまたは１００V ブレーカーを「切」後、「入」にしてください。
		リセット操作を行ってください。（19 ページ参照）
ボタン操作ができない。	チャイルドロックが働いていませんか。	チャイルドロックを解除してください。 （18 ページ参照）
コントローラー画面が点滅している。	設置後初めての通電ですか。	現在時刻の設定を行ってください。（8 ページ参照）
	リセット操作をしていませんか。	現在時刻の設定を行ってください。（8 ページ参照）
	長時間の停電後など長時間 100V 電源を切っていた後の再通電時ですか。	バックアップ電源（内蔵電池）が寿命の可能性があります。 販売店にお尋ねください。
エラー表示が出る。	エラーコード表示をご参照ください。（19 ページ参照）	
暖房器が暖まらない。	200V 電源ブレーカーが「切」になっていませんか。	200V 電源ブレーカーを「入」に設定してください。
	現在時刻、蓄熱開始・終了時刻は正しく設定されていますか。	現在時刻設定、蓄熱開始・終了時刻の設定をしてください。 （8、17 ページ参照）
	蓄熱量を低い設定にしていませんか。	蓄熱量設定を大きくしてください。（9 ページ参照）
	蓄熱時間帯にファンをまわし過ぎていませんか。	蓄熱時間帯は、ファンモードを「切」にするか、室温設定を低くしてください。（10、11 ページ参照）
温風が出ない。	上記 ” 暖房器が暖まらない ” をまずご確認ください。	
	「通常」モードに設定されていますか。	「通常」モードに設定してください。（11 ページ参照）
	室温設定が低くなっていませんか。	室温設定を高くしてください。（10 ページ参照）
	吹出しグリル、吸込みネットが詰まっていませんか。	吹出しグリル、吸込みネットの掃除をしてください。 （20 ページ参照）
	暖房器前面が塞がれていませんか。	前面に置いてあるものを移動し、離隔距離を確保してください。 （3 ページ参照）
お部屋が暖まらない。	上記 ” 暖房器が暖まらない ”、” 温風が出ない ” をまずご確認ください。	
	ドアや窓が開いていませんか。	ドアや窓を閉めてください。

上記対応でも問題が解決しない場合は、電源ブレーカーを「切」にし、販売店にご連絡ください。

次の場合は故障ではありません

症状	調べる所	対処方法
本体から音が鳴る。	蓄熱時やファン運転時の音ですか。	蓄熱時、ファン運転時を問わず、熱の影響による金属の熱膨張・収縮による音や、床との摩擦による音が鳴りますが、異常ではありません。
	ファン運転開始及び停止直後の音ですか。	
	「カチッ」という音ですか。	ヒーターへの通電を「入」「切」するスイッチ（リレー）動作音で、異常ではありません。
においが出る。	初めてお使いになる場合、長期間使用していなかった場合は、ホコリや湿気でにおいが出る場合が有ります。 この時、お部屋は十分に換気した上で運転してください。	
「◗」マークが点灯する。  	200V 電源ブレーカーが「切」になっていませんか。	●暖房シーズンの場合： 蓄熱量を設定し、200V 電源ブレーカーを「入」にしてください。 ●オフシーズンの場合： 「◗」マークは暖房シーズンに蓄熱設定（５%以上）がされた状態で、電源が供給されなかったことをお知らせするマークです。 オフシーズンに点灯していても、暖房使用開始時にブレーカーを「入」にして使用を開始し、翌朝までに正常に蓄熱すれば、「◗」マークは自動的に消灯します。 ●オフシーズンに「◗」マークを消灯させる場合： ブレーカーを「入」にして１時間以上追い焚きまたはブレーカーを「入」にして翌朝まで蓄熱すると、「◗」マークが消灯します。 その後、暖房を使用しない場合は、蓄熱量設定を０%にし、ブレーカーを「切」にしてください。

仕様

【 8時間蓄熱型 】

型　番		VUEi 20JW	VUEi 30JW	VUEi 40JW	VUEi 50JW	VUEi 60JW	VUEi 70JW	VUEi 80JW	VNEi 36JW	VNEi 50JW	VHEi 60JW
定格電圧	蓄熱	単相AC200V（50/60Hz）									
	ファン、制御回路	単相AC100V（50/60Hz）									
定格消費電力	蓄熱	2,000W	3,000W	4,000W	5,000W	6,000W	7,000W	8,000W	3,600W	5,000W	6,000W
	ファン、制御回路	18W		28W			18W		28W		
シーズヒーター本数		3本					6本				
蓄熱レンガ数		12個	18個	24個	30個	36個	42個	48個	30個	42個	36個※
最大蓄熱量 kWh (kcal)		16.0 (13,800)	24.0 (20,600)	32.0 (27,500)	40.0 (34,400)	48.0 (41,300)	56.0 (48,200)	64.0 (55,000)	28.8 (24,800)	40.0 (34,400)	48.0 (41,300)
有効蓄熱量 kWh (kcal)		14.4 (12,400)	21.6 (18,500)	28.8 (24,800)	36.0 (31,000)	43.2 (37,200)	50.4 (43,400)	57.6 (49,500)	25.9 (22,300)	36.0 (31,000)	43.2 (37,200)
全重量（本体＋レンガ）		98kg	137kg	176kg	215kg	254kg	293kg	335ｋg	191kg	261kg	275kg
外形寸法（幅×高さ×奥行）( )内スペーサ含　mm		626×672×250(295)	776×672×250(295)	926×672×250(295)	1076×672×250(295)	1226×672×250(295)	1376×672×250(295)	1526×672×250(295)	1040×484×250(295)	1340×484×250(295)	740×1096×250(295)
200V配線用遮断器の定格電流		15A	20A	30A	40A	40A	50A	60A	30A	40A	40A
200V屋内配線の最小電線太さ（銅線）	VVケーブル	直径1.6mm (2.0mm²)	直径1.6mm (2.0mm²)	直径2.6mm (5.5mm²)	直径3.2mm (8.0mm²)	直径3.2mm (8.0mm²)	(14.0mm²)	(14.0mm²)	直径2.6mm (5.5mm²)	直径3.2mm (8.0mm²)	直径3.2mm (8.0mm²)
	CVケーブル	2.0mm²	2.0mm²	2.0mm²	3.5mm²	3.5mm²	5.5mm²	8.0mm²	2.0mm²	3.5mm²	3.5mm²
機能		時計、蓄熱量表示、蓄熱タイマー、ピークシフト、追焚、チャイルドロック、データバックアップ									
安全装置		蓄熱温度過昇防止装置（自動復帰型・手動復帰型の２段階） 電源ヒューズ（2A）、転倒時電源遮断スイッチ（手前45°以上傾斜）、吹出温度過昇防止装置									

※溝有 18 個　溝無 18 個の計３６個

保証とアフターサービス

保証書（添付）

この取扱説明書には保証書が添付されていますので、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日から本体 2 年間です。詳しくは保証書をご覧ください。

補修用性能部品の保有期間

電気蓄熱暖房器の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 10 年間です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」（２１ページ）に従って調べていただき、なお異常があるときは、電源ブレーカーを「切」にし、販売店にご連絡ください。

■保証期間中は

保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。
修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎている場合は

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

■ご連絡いただきたい内容

品名	電気蓄熱暖房器
型番	VUEi　20JW/30JW/40JW/50JW/60JW/70JW/80JW VNEi　36JW/50JW　VHEi　60JW
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
お客様	お名前、ご住所、電話番号
修理希望日	年　月　日

保 証 書

品　　名	電気蓄熱暖房器
型　　番	VUEi 20JW　VUEi 30JW　VUEi 40JW　VUEi 50JW VUEi 60JW　VUEi 70JW　VUEi 80JW VNE 36J　VUEi 5 JW VHE 60JW
お　客　様	お名前　　様 ご住所　（〒　　－　　） 電話番号　（　　）　　－
お買い上げ日	年　　月　　日
保証期間	**お買い上げ日から本体２年間（ヒーターは３年間）**
販　売　店	販売店名 住所 電話番号　（　　）　　－

SAMPLE

本書は、お買い上げの日から上記期間中故障が発生した場合には、下記＜無料修理規定＞に基づき無料修理を行うことをお約束するものです。

詳細は、下記＜無料修理規定＞をご参照ください。

＜無料修理規定＞

1．取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。

（イ）無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店にお申しつけください。

（ロ）お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、販売元にご連絡ください。

（ハ）この商品は出張修理をさせていただきますので、修理に際し本書をご提示ください。

2．ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店又は販売元にご相談ください。

3．ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、販売元へご連絡ください。

4．保証期間内でも次の場合には、原則として有料にさせていただきます。

（イ）　使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷

（ロ）　施工説明書に指示する方法以外の工事設計または取付工事等が原因で生ずる故障及び損傷

（ハ）　お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷

（ニ）　火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷

（ホ）　車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷

（ヘ）　本書のご提示がない場合、本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合

（ト）　離島又は離島に準ずる遠隔地へ出張修理を行う場合の、出張に要する実費

5．本書は日本国内においてのみ有効です。

6．本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

7．販売店の連絡先は、上記保証書内をご参照ください。

※この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店又はお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

※補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 10 年です。

※This warranty is valid only in Japan.

輸入元　株式会社ディンプレックス・ジャパン
〒007-0846 北海道札幌市東区北 46 条東 17 丁目 2 番 23 号
TEL：011-783-7989　FAX：011-783-7747

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お手入れ・お取扱い・工事などのご相談は、お買い求めの販売店・工事店
または下記窓口へお申し付けください。

取扱元：パナソニック ホームエンジニアリング株式会社

本社・アライアンス営業部
〒540-6216 大阪府大阪市中央区城見２丁目１番61号 OBPパナソニックタワー16階 TEL：06-6942-0953　FAX：06-6942-1040

[北日本支店]

北海道営業部
〒060-0809 北海道札幌市北区北９条西２丁目１番地パナソニック札幌北９条ビル　TEL：011-736-2241　FAX：011-736-2244

東北営業部
〒984-0015 宮城県仙台市若林区卸町３丁目６番地３号　TEL：022-239-5437　FAX：022-239-5438

[首都圏・関東支店]

システム営業部　開発営業所
〒136-0076 東京都江東区南砂２丁目36番10号 光陽ビル２階　TEL：03-5634-8562　FAX：03-5634-8462

[近畿・中部支店]

近畿営業部
〒540-6216 大阪府大阪市中央区城見２丁目１番61号 OBPパナソニックタワー16階　TEL：06-6947-8851　FAX：06-6947-8873

中部営業部
〒461-0002 愛知県名古屋市東区代官町３１番地２６号　　TEL: 052-979-5615　FAX: 052-933-4471

[西日本支店]

九州営業部
〒810-8530 福岡県福岡市中央区薬院３丁目１番24号　TEL：092-523-9744　FAX：092-523-9717

中四国営業部
〒730-0051 広島県広島市中区大手町３丁目１３番18号松村ビル１階　　TEL：082-504-4509　FAX：082-504-4383

輸入元：株式会社ディンプレックス・ジャパン

本社・技術相談窓口
〒007-0846 北海道札幌市東区北46条東17丁目２番23号　TEL：011-783-7989　FAX：011-783-7747

北海道営業所
〒007-0846 北海道札幌市東区北46条東17丁目２番23号　TEL：011-783-7106　FAX：011-783-7108

東北営業所
〒989-2422 宮城県岩沼市空港南２丁目２番２号　TEL：0223-25-5804　FAX：0223-25-5805

北陸営業所
〒939-8094 富山県富山市大泉本町１丁目４番14号　パレット大泉１階　TEL：076-420-7617　FAX：076-420-7618

首都圏関東営業所
〒103-0023 東京都中央区日本橋本町３丁目８番３号　東硝ビル８階　TEL：03-6272-3792　FAX：03-5695-0271

西日本営業所
〒564-0051 大阪府吹田市豊津町１番31号 由武ビル８階　TEL：06-6193-5365　FAX：06-6193-5366

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

パナソニック ホームエンジニアリング（株）および (株)ディンプレックス・ジャパンは、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を下記のとおり、お取り扱いします。

①上記２社は、お客様の個人情報を、本商品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。なお、修理やその確認業務を上記２社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、上記２社以外の第三者に個人情報を開示・提供しません。
②上記２社はお客様の個人情報を、適切に管理します。
③お客様の個人情報に関するお問合せは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。